

# 「人づくり」で目指す 地域に必要とされる学校

## 「人間力」豊かな人材を育成



### 学校法人松商学園

創立120有余年を誇る県内有数の伝統校である松商学園。建学の精神「自主独立」のもと、明治、大正、昭和、平成、令和と移りゆく時代の中で変化する教育ニーズに応えながら、社会に貢献できる人材育成のために発展、進化を続けています。松商学園の丸山律夫理事長、松本大学の菅谷昭学長、松商学園高等学校の長野雅弘校長、松本秀峰中等教育学校の小宮山淳校長に、新しい時代への展望を聞きました。



学校法人松商学園 理事長  
丸山 律夫

#### 地域での存在価値を高める

学校法人松商学園は、福沢諭吉の薫陶を受けた明治期の実業家・教育家だった木澤鶴人先生が、明治31（1898）年に故郷の松本に設立した「戊戌学会」を前身としています。現在は松本大学大学院、松本大学、松本大学松商短期大学部、松商学園高等学校、松本秀峰中等教育学校を擁する総合学園として、それぞれ機能分化した学校が特色を出しながら、社会や地域のニーズに応えられる人材の育成に力を注いでいます。

松商学園はこれまで、時代の求めに応じる形で規模を拡大してきましたが、目指すのは常に、どんな時代でも社会のさまざまな問題に向き合い、解決できる「人間力」豊かな、社会に貢献

できる人材の育成です。人間力とは、困難なことにも立ち向かい、諦めず、自立して力強く生きていく力です。これは一朝一夕に身につくものではなく、多感な年代にこそ最も育まれるものだと思っています。教育機関には、その大切な時期を預かる責務があり、そのための教育環境の整備は現在も続けています。

そんな中、これまで以上に力を入れたいと考えているのが「人づくり」です。より質の高い教育を提供するために、まず教職員の意識改革とレベルアップを図ります。未来を生きる子どもたちを育てるには、教師も学び、進化し続けることが必要です。教師の成長は必ず学生・生徒の成長につながります。

昨今、全国的にみると短期大学の数は減少傾向ですが、昭和28（1953）年に開学した松商短大は地元就職に強いこともあり、現在も変わらず地域ニーズが高く、多くの高校生が進学を希望してくれています。長い歴史の中で卒業生たちが地域に貢献し、信頼を築き上げてきた証でしょう。松商学園の原点ともいえる高校の商業科も同様で、これほど長く地域に必要とされていることは誇りです。ただ、これからの時代はますます社会で求められる知識やスキルが変化するはず。伝統を大切にしながら、新しいニーズに応えていくためには常に進化し続けなくてはなりません。松商学園の建学の精神である「自主独立」を不変のものとして、新しい時代に必要なものを取り入れていく、そうすることが地域における存在価値を高めることになるだろうと考えています。

少子化、教育の多様化など、さまざまな問題が山積する中ではありますが、多くの校友の支えに感謝しつつ、今後はこれまで以上に各校の連携を強め、地域に必要とされ、貢献できる学園を目指してまいります。



学問、音楽、山岳の「三ガク」のまち松本

## 展開し続ける、教育の輪



### 学校法人 松商学園

【法人本部】〒390-8515 松本市県3-6-1 TEL.0263-33-1210 FAX.0263-33-1213  
【法人事務局】〒390-1295 松本市大学新村2095-1 TEL.0263-48-7207 FAX.0263-48-7297

地域を活かす、人づくり大学



#### 松本大学・松商短大



〒390-1295 松本市大学新村2095-1 TEL.0263-48-7200

総合経営学部 総合経営学科・観光ホスピタリティ学科  
人間健康学部 健康栄養学科・スポーツ健康学科  
教育学部 学校教育学科  
松商短期大学部 商学科・経営情報学科  
松本大学大学院 健康科学研究科 [博士前期課程/博士後期課程]

松本大学大学院 総合経営研究科 [修士課程]  
(今春4月開設)

自主独立



#### 松商学園高等学校



〒390-8515 松本市県3-6-1 TEL.0263-33-1210

普通科 特進コース・文理コース・総合コース  
商業科 会計ファイナンスコース・ITメディアコース・経営マネジメントコース

夢と知性の6年間



#### 松本秀峰中等教育学校



〒390-0813 松本市埋橋2-1-1 TEL.0263-31-8311

中高6年間完全一貫教育

斬新で質の高い学習環境が実現  
新教室棟 今春3月完成

2023年度メディカルコース設置

## 地域社会に貢献できる 真の人間力ある人材を育成

### 松本大学・松商短大

今春、開学から20年を迎える本学は、「教育・研究を通じて地域社会への貢献」を基本理念に掲げ、「地域の若者を地域で育て、地域に還す」という教育方針のもと、地元自治体や経済界の協力を得ながら全学一丸となつて、「地域立大学」としての基礎固めに取り組んできました。これからは、いまだ「途上にある大学である」という自覚のもと、若年世代の急速な減少という喫緊の課題に危機感をもつて的確に対応し、若者に選ばれた大学づくりを目指します。

#### 地域に学ぶ実践型教育

本学の多くの科目で取り入れている独自の教育手法が、全国モデルとして注目されている地域と連携した実践型教育「アウトキャンパス・スタディ」です。「地域の学びを通して社会の最前線で活躍する人になる」をキーワードに理論と実践の融合を目指した教育手法で、ここで育まれた力は社会で真に必要とされる「人間力」につながり、最終的には地域社会発展の原動力となります。さらに平和教育、他大学との交流推進にも力を入れ、多角的な視点から物事を考えられる人材を育成します。

求められるのは、「地域貢献」という基本理念の再認識と実践、そしてより一層の独自性、話題性ある大学として存在感を示すことだと思っています。重要なキーワードのひとつが「地方創生」です。知的集団でもある大学には、それに資するための積極的な関わりが求められています。出生地定着増に大きな役割を果たしている強みを活かし、地方創生モデル教育機関として地域を支え、さらに産学連携を

推進し、地域の知的資源として地域経済の発展と活性化に寄与します。

学生たちには、こうした学びを通して、地域的、国家的、そしてグローバルな視点を育みながら自らの思考をより深掘りし、「地方から国を動かす」気概を持って地域を支え、国を背負い、世界に羽ばたいてほしいと強く願っています。



松本大学 学長  
松本大学松商短期大学部 学長  
菅谷 昭

信州大学医学部卒業後、同大医学部第二外科学教室、トロント大学などを経て、1991年からチエルノブイリ原子力発電所事故の医療支援活動に従事。1993年信州大学医学部助教授に就任。退官後、長野県衛生部長、松本市長（4期16年）を務め、2020年、松本大学学長に就任。

## 安心できる環境で高い人間力を育み 学び続ける人材を育成

### 松商学園高等学校



松商学園高等学校 校長  
長野 雅弘

大学卒業後、20年以上にわたり高校で教鞭をとり、その後、私立学校校長職を約15年（4校）務める。その間、私学協会役員や各種審議会委員に就任。聖徳大学教授（6期）を経て、学校法人五島育英会理事、東京都市大学客員教授、同附属中学校高等学校長を務める。2021年、松商学園理事、松本大学客員教授、松商学園高等学校校長に就任。

#### 松商学園高校

#### 「三つの安心」

高校時代は人生の方向性を定めるために根を張り、枝葉を広げ、つばみをつける重要な期間です。その大切な3年間を松商学園高校で過ごす生徒たちには、「自主独立」という建学の精神の通り、自ら進む道を選び、その道で自分を生かし、自立して生きていく力を育んでほしいと思っています。そのために私が必要だと考え実践しているのが、できるだけ多くの選択肢を与え、多様な経験をさせることです。

人間は選択肢が与えられると自ら選び、行動します。やる気というのは行動することによって湧いてくるもので、私はその動きだすきっかけを与えるようにしています。それは生徒だけでなく教職員も同じです。生徒の成長において教員の存在は時に人生を左右するほど重要なものですから、校長としては先生方のサポートをすることで、生徒一人一人の成長をしっかり支えたいと思っています。教師も生徒も、学び続けることを大切に

してほしいですね。

人間の脳は24〜25歳で完成するのですが、そこに至る過程にある高校時代は、できるだけ安心できる環境で、より多くの人と接しながら過ごすことが望ましいとされています。ですから学校選びで最も大切にしてほしいのは安心感です。本校には、▽120年を超える歴史▽多くの卒業生が積み重ねてこられた進学や部活動での実績▽大勢の生徒が学ぶ整った教育環境（人的環境・空間環境）——という三つの大きな安心材料があります。これは他校が簡単に真似できるものではありません。

縁あって伝統ある松商学園高校に赴任してきましたが、生徒も先生方も素直で真面目な方が多く、潜在能力が高いと感じています。松商という舞台で、一人一人が主役としてスポットライトを浴びて輝き、目指す道で飛躍できるよう、私が培ってきた知識や経験を生かし、あらゆる面で県下トップ校を実現させたいと思っています。

## 未来の日本や世界をリードする 人間性豊かなリーダーを育成

### 松本秀峰中等教育学校



学校法人松商学園 学園長  
松本秀峰中等教育学校 校長  
小宮山 淳

信州大学で小児科教授、医学部附属病院長、医学部長、信州大学長を歴任。2009年、信州大学名誉教授に就任。同年、学校法人松商学園へ学園長として着任。2010年に開校した松本秀峰中等教育学校の初代校長として教育活動の基盤を確立。

本校は建学の精神のもと、6年間の完全一貫教育において、人間性豊かな、将来のリーダーとなる人材の育成を目指しています。第6期生までが巣立ちましたが、秀峰で培った自身の特性・個性・才能を生かし、さまざまな分野で活躍しています。

#### 自信を夢につなげる

私は常に、自分の中の強いものを意識するようにと生徒たちに話しています。どんなものでもいいのです。それは心理的な安全基地となり、揺るぎない自分を形成してくれます。本校では自主活動を推奨し、挑戦を全面的にサポートしていますが、こうした活動が自信となり、将来の夢を見いだした生徒は少なくありません。

2023年度に新設する「メデイカルコース」も、医療分野に興味のある生徒たちが立ち上げた部活動が始まりました。3月には講堂と、より高度な実験ができる理科実験室を備えた教室棟が完成し、これまで以上に充実した学習環境が整う予定です。生徒、保護者、地域の皆さんの期待に応えられるよう、今後教職員一丸となつて取り組んでまいります。

こうした能力や人間性は、多感な年代に多くの人と関わり、体験するなかでこそ涵養されま

#### 中等教育の重要性

医学教育や総合大学で高等教育に関わった経験から、社会のリーダー育成には中等教育こそ重要であるということを実感してきました。今、社会では思考力・判断力・表現力が求められています。本校では6年という時間的ゆとりを活かし、「なぜ」を問う授業、すなわち自ら疑問をもち、論理的に思考し、それを適切に表現する力をつけることに注力しています。また、幅広い年代の生徒が同じ学び舎で共に学び合い、切磋琢磨する中では、豊かな人間性も育まれていると感じます。

こうした能力や人間性は、多感な年代に多くの人と関わり、体験するなかでこそ涵養されま